

提 案

1. 平和大通りの将来像

平和大通りの将来像

「明るい平和大通り」
人・自然・文化への共感をつくり出す

平和を感じ、平和をアピールできる空間としたい、人が主役の通りにしたい、自然を考えるとすることを忘れないようにしたい、文化を育み、文化を発信していく通りにしたい、そして何よりも明るい通りをつくろう、そういう願いを込めて、平和大通りの将来像を提案する。

2. 整備の基本コンセプト

平和大通りの将来像を実現していくため、次に掲げる6つの基本コンセプトを設定する。

6つの基本コンセプト

- ① 平和
- ② 人を中心に（人に優しい、市民参加）
- ③ 自然（環境）との共生
- ④ 文化（芸術）を育む
- ⑤ 明るい通り
- ⑥ 共感

① 平和

- 平和都市ヒロシマを象徴する空間として、平和を感じ、平和をアピールできる空間にしたい。

② 人を中心に（人に優しい、市民参加）

- 現在の車優先の道路から、何よりも人を尊重し、誰もが楽しんで歩ける公園のような空間にしたい。
- だれでも、ここにいるととても豊かな気持ちになれるような通りにしたい。
- それぞれの人の存在感を認め合い、他人へのいたわりや配慮の大切さを感じることができる通りにしたい。
- 市民が自ら参加し、長い年月をかけながら、この通りをつくり続けていく、そのような通りをめざして取り組んでいきたい。

③ 自然（環境）との共生

- 樹木、草花や動物達との共生を考える通りにしたい。
- 自然が自然そのものを、動物達は生きる権利と環境を取り戻していく、その中で人間や動物が遊び楽しみ仲良く生きていける空間にしたい。

④ 文化（芸術）を育む

- ここで文化を育み、さらに独自の文化を発信していく、そのような通りにしたい。
- 平和都市ヒロシマと文化がイコールでつながることをこの通りから国内外へアピールし、たくさんの人達を惹きつける空間にしたい。

⑤ 明るい通り

- 現在の平和大通りのどことなく暗いイメージ（鬱蒼とした樹木、夜間の人通りの少なさや暗さなど）を払拭し、明るいイメージの通りにしたい。
- 樹木の種類や照明などの物理的な明るさだけでなく、イメージとしての明るさを演出する空間にしたい。
- 沿道の施設と一体となってウインドーショッピングや食事などを楽しみながら歩く、賑わいにあふれた通りにしたい。

⑥ 共感

- この通りでくりひろげられる様々な営みに対して深く共感しあう、そのような空間にしたい。

3. 施設整備に当たって特に配慮されるべき事項

- この通りは、全体を通して社会的に移動が不自由な人たちに対して徹底した配慮、設備を施したモデルケースとなるような整備を行う。
- 今後、この通りを整備する際の具体化の過程においては、障害者や高齢者等の意見を充分取り入れていくことを基本とする。具体化に際しては、個別のテーマごとに、行政だけでなく市民や専門家を交えたプロジェクトチームで議論・検討した上で整備に着手する。